室町小学校の研究はこんな疑問に答えます！！

1　課題把握のさせ方

どのようにして，子どもたちに問題をつかませたらいいのですか。
教科書は見せない方がいいのですか。

写真のようにコンピュータのプレゼンテーションを使って問題を考えることもあります。

基本的には，教科書は使わずに授業を行います。教科書のさし絵を拡大コピーし，子どもたちの意識が集中するように，提示していきます。そして，問題のストーリーを考えながら，自分で問題をつくります。つくった問題を整理し，みんなで取り組む課題を確認します。確認ができたら，ノートに自分の字でしっかり書き写します。

このような手順を踏むと，ほとんどの子どもたちが今日は何について学習するのかというめあてを意識できるようになります。また，習熟の程度に応じた指導では，特にこの課題把握の場面がグループにより違ってきます。

2　自力解決の仕方

自力解決の時に，どんな支援を考えていけばよいのですか。
早くできてしまった子どもたちには，どのような助言をすればよいのですか。

ヒントカードをもとに，子どもに指導している場面です。

机間指導をする中で，自分の力で解決できにくい子どもについては，ヒントカードを渡したり，直接助言をしたりして支援をします。助言の内容は，「絵に表して考えてごらん。」「線分図にして考えてごらん。」など具体的に指示していきます。この時，解決できている子どもの考えもしっかり把握して次の集団解決で活かせるようにしておきます。

また，早くできた子どもが「先生　できました。」と言わないよう「できたら，確かめる方法を考えてごらん。」「他の方法も考えてごらん。」と，平素からも指導しておきます。

3　集団解決の仕方

なかなか話し合い深めるような授業ができないのですが・・・・。

時には，黒板の前に出て，説明しみんなで話し合う場面もあります。

本校でも，サブテーマに「かかわりありながら意欲的に表現する子の育成を目指して」として，話し合い活動に重点をおいています。しかしながら，まだまだ本校でも不十分なところです。

Ａくん：「・・・・いいですか？」
全員　：「いいですよ。」

とならないよう，いつも友だちの意見と比較して深めていけるよう話し合いの視点をはっきりさせ，深められるような授業展開を考えています。

＊　室町小学校の授業研究会では，上のような疑問にお答えすることができればと思います。